

# 柏市民活動ニュースレター

2026 年 9 月発行 第 42 号

## 柏の夏は、今年も市内各地域の夏祭りや手賀沼花火大会で熱く燃えました！

☆ 柏まつりが酷暑の夏を避けて 9 月に延期される中、町会・自治会や市民活動団体などが主催する多彩な夏まつりが市内各地域で開催され、柏の夏は今年も熱く燃えました。

☆ また、柏の夏の風物詩・手賀沼花火大会が今年も無事開催され、夏の夜空に希望の明かりを灯しました。



市民活動団体が企画運営した、柏の葉 T-SITE 夏祭りにおける「青森ねぶた祭」※本稿 6 ページで詳しく紹介



柏の夏の風物詩  
手賀沼花火大会



### < 目次 >

|                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 巻頭 柏の夏は、今年も熱く燃えました！              | ・・・ 1 |
| 市民活動講座「市民活動団体に役立つ AI 講座」         | ・・・ 2 |
| 協働まちづくりサロン「地域おこし協力隊 OG に話を聞こう」   | ・・・ 3 |
| 市民活動講座「あなたの一歩が地域を変える！」           | ・・・ 4 |
| 市民活動講座「助成金を活用して活動を広げよう」          | ・・・ 5 |
| ／市民活動コーディネーター講座のご案内              | ・・・ 5 |
| たまご補助金団体の活動紹介「NPO 法人青森ねぶた祭文化振興会」 | ・・・ 6 |
| こどもすぺーす柏 キャンプ体験記                 | ・・・ 7 |
| サポートコーナーからのお知らせ                  | ・・・ 8 |

## 第1回市民活動講座（6/24） 市民活動団体に役立つ AI 講座

いま話題の生成 AI を、市民活動団体の活動に如何に役立てることができるかをテーマにした講座を、6月24日に行い15名の皆様にご参加いただきました。講師は市民活動サポートコーナーの所英明地域づくりコーディネーターが務めました。

はじめに導入として、AI 研究の歴史から見て、1960年代、1980年代、更に2010年代から現在に至る第3次のAIブームがあり、現在正に革新の最中にあること。第3次はAIの仕組み自体が人間の脳に学び、ディープラーニングや特徴量の抽出を可能として、データから自ら学び、膨大な学習データから驚くほど高度で自然なテキストや画像を生成するブレイクスルーが起きたこと、を振り返りました。

次に、Googleの生成AIのGeminiを例に、実際の使い方を例示し、予め受講生から事前アンケートを頂いていた内容で、Gemini Liveの機能を使い、リアルタイムでGeminiに相談して会話する様子のデモンストラレーションがありました。

最後に、市民活動団体の実際の活動に如何に役立てるか、という今回のテーマの例示として、「会議を楽にする議事録作成の4ステップと実践のコツ」が取り上げられました。議事録作成は、大事でありながら手間暇がかかり負担が大きい作業です。しかし、会議に欠席した人でも議事録を見ればどんなことが課題として話され、結論は何か把握できます。議事録は苦勞が多い団体の運営を助ける強力なツールなのです。

「議事録作成をAIに全部お任せできたらどんなにいいだろう！」(笑)

確かにそうですが、将来はともかく今はまだ全部お任せ、という段階ではありません。特に2時間を超えるような長い会議の場合、録音データからの文字起こし→人間による最低限のテキスト修正→AIへのテキストや付随する会議資料等のアップロード→適切な指示(プロンプト)、を経てより良い議事録が時短で出来上がる、ということを伝える講座でした。



主催：市民活動サポートコーナー  
柏市民活動講座 2026

10001100111111001100101011000110011101100001011001010110001

市民活動団体に役立つ  
AI 講座

一生懸命に作った議事録でも  
みなさんが読んでくれないと  
わたしは、寂しいです。

なんとか、なる  
(たぶん)

◎講座の内容◎  
【導入1】AI（人工知能 Artificial Intelligence）ってなに？  
【導入2】Googleの生成AI Gemini を使ってみる  
【事例研究】会議をラクに！ スタッフで共有する議事録作成

講師：所英明（市民活動サポートコーナー・地域づくりコーディネーター）  
NPO理事、市民活動団体代表、流山市振興まちづくり推進協議会副会長、ほか。  
「わたしはAIの専門家でも何でもありませんが、AIの便利さに見惚れ、Windowsやスマホの登場の時と同じ。今、AIへの苦手意識をなくして、どんどん使いこなしてしまえば、市民活動がぐっとラクに、楽しくなりますよ！」

【日時】令和8年6月24日（水） 午後6時30分～8時30分  
【場所】パレット柏 ミーティングルームFG  
【対象】市内在住・在勤・在学のかた、15人  
【申込方法】6月2日（火）午前10時から、氏名（ふりがな）・電話番号・メールアドレス・所属団体（市民活動団体に所属していれば）を書いてメールか、電話、直接窓口でお申し込みください。※申し込み先着順

問・申込 市民活動サポートコーナー（9:30-17:45 月曜休）  
TEL 04-7163-1143  
✉ sksc@city.kashiwa.chiba.jp  
〒277-0005 柏市柏1-7-1 DayOneタワー3F パレット柏内  
柏市民活動情報サイト かしわん、ばっ？ <http://kashiwanpo.genki365.net/>

QRコード

### 《参加者の感想（抜粋）》

- 昨年7月から苦戦していた議事録の作り方に、とても参考になりました。
- どうやって使ったらいいのかがわかったので参加して良かった。色々AI ツールがあることがわかった。
- 生成AIの具体的な使い方、使用する上での問題点など、一通り伺えて良かった。
- 初心者への入り口として有意義でした。
- また、参加したい。

## 協働まち づくり サロン

# 第1回協働まちづくりサロン（7/25） 協力隊で得た地域との関わり方 ～地域おこし協力隊 OG に話を聞こう～

令和8年7月25日（土）13時～14時30分まで、第1回協働まちづくりサロンを行いました。今回は、市民活動サポートコーナーの末永董地域づくりコーディネーターが5年間活動していた「地域おこし協力隊」について少しお話しさせていただきました。

12名の方にご参加いただき、「地域おこし協力隊になったきっかけ」「地域おこし協力隊とは」「現在の協力隊の傾向や受入れ地域について」「5年間の地域おこし協力隊」活動について一通りお話しした後、質疑応答と意見交換の場をもたせていただきました。

質疑応答では、「楽しかったことや苦労したこと」「どんな場所に住んでいたか」や「休日の過ごし方」などご質問いただきお答えしました。

その後、意見交換では協力隊のお知り合いがいる方の事例や新たに地域おこし協力隊になろうか迷っている学生さんなど意見交換も盛り上がり、有意義な時間となりました。

協働まちづくりサロン  
協力隊で得た地域との関わり

地域おこし協力隊OGによる、まちづくり活動の実践例や経験談の話を聞き、地域をより良くするための方法を話し合います。

7.25 土 13:00～14:30

場所 バレット柏 ミーティングルームFG

事例紹介 地域おこし協力隊になったきっかけや、活動内容についてお話しします。

質疑応答 生活に関することや地域性についての質問なんでもお答えいたします。

意見交換 柏市でもできることや地域との関わり方について皆さんの考えを含め交流しましょう。

<対象> 地域おこし協力隊に興味がある方（先着15名）  
<申し込み方法> 7月1日午前10時～お電話もしくはメールから

☎04-7163-1143  
✉sksc@city.kashiwa.chiba.jp  
氏名/電話番号/メールアドレス/所属団体を添えてお申込みください。



### 《参加者の感想（抜粋）》

- 地域おこし協力隊について、具体的に理解し、まちとの関わり方が印象的でした。
- 小さいやりたいことを言うこと、ともに支え合うこと、未来へのアイデアで希望をつなぐことの重要性。
- 今まで知らなかった地域おこし協力隊の具体的なお話しが聞けて楽しかった。
- 若い時代に出会いたかった活動だと思った。
- 大変勉強になりました。

## 市民活動 講座

# 第2回市民活動講座（8/29） はじめての市民活動講座 ～あなたの一步が地域を変える！～

2026年8月29日にパレット柏で実施した柏市民活動講座は、市民活動に対する心理的・物理的なハードルを下げ、参加者が具体的な活動イメージを持ち、次のステップへと踏み出すことを目的として、前半は「市民活動・NPOとは?」「市民活動のはじめかた」「支援制度、活動団体の紹介」の説明、後半は「私の「やりたい」「できる」発見シート」を踏まえたワークショップを行いました。

### 【市民活動・NPOとは?】

市民活動は、日常生活の中での「気づき」から始まる自発的な活動であり、特別な人が行うものではなく、誰もが持っている地域や社会に対する「こうなったらいいな」「ここを改善したい」という思いが起点となります。

また、営利を第一の目的とせず、環境保全や防災、子育て支援、福祉、まちづくりといった分野で課題解決や価値創造を目指すものであり、個人的な性格の強いボランティア活動や地縁をベースにした町会・自治会など他の活動と、明確な境界線を設けず相互に連携しながら地域を支える役割を果たしていくものであると考えられます。

### 【市民活動のはじめかた】

ここでは、個人の「思い」をカタチにするための3つのステップが示されました。

#### STEP 1：思いの可視化

解決したい課題と今までの経験や趣味で培ったスキルや活動可能時間を整理します。

#### STEP 2：仲間集め

身近な数名で小さく始め、SNSなどで活動を発信しながら多様な仲間を巻き込みます。

#### STEP 3：資金のコツ

公共施設の活用や備品のシェアなどお金をかけない工夫や、寄付や助成金を活用します。

### 【支援制度、活動団体の紹介】

柏市では設立3年未満の団体向けの「柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）」制度などの支援制度があることや、スタートアップで使える各種民間助成金などが紹介されました。

また、柏市では400を超える市民活動団体が市民公益活動団体として登録されており、多様な分野で活動が展開されていることが紹介されました。

### 【ワークショップ】

後半のワークショップでは、「できること」と「やりたいこと」を掛け合わせた具体的な活動アイデアを付箋に書き出し模造紙に貼って発表し合い、他の参加者とのアイデアの組み合わせから、新たな協働アイデアを創出する体験が行われました。



## 市民活動 講座

### 第3回市民活動講座（9/16） はじめての助成金講座 ～助成金を活用して活動を広げよう～

本講座は、市民活動団体が助成金申請の経験を自団体の事業や運営に活かせるようになることを目指して開催しました。助成金は資金獲得の「目的」ではなく、活動を継続・発展させるための「手段」であり、社会的信用の獲得や財源の多様化につなげることが重要と位置づけています。

講座は以下の3部構成で実施しました。

（1）**助成金の基礎知識** 助成金の意義や、行政と民間財団による助成金の特徴の違い、持続可能な運営に向けた財源多様化の必要性について。

（2）**採択される申請書のポイント** 助成金を「社会課題解決への投資」と捉える出し手の意図を踏まえ、審査員が申請内容を見る視点（公益性・必要性・実現可能性・団体の適格性・資金の必要性）について解説。また、「単価×数量×回数」による明確な積算根拠の作成や、事前相談が審査の土俵に乗せる鍵となることなど。

（3）**ワークショップ（実践・共有）** ワークシートを活用し、以下の手順で申請書作成に取り組みました。

① **課題整理** 解決したい地域の困りごと、具体的な活動、不足資金と積算根拠を整理。

② **事業目的・事業名の作成** 150～200文字でまとめ、一目で伝わるタイトル案を考える。

③ **セルフチェック・事前相談メモ** 選考視点でチェック、助成団体事務局への相談事項の整理。

最後に、募集要項の熟読や事務局への連絡など、明日から取り組める実践的なアクションを促して終了しました。



## 令和8年度 市民活動コーディネーター講座のご案内

地域の多様な主体が連携して地域課題に取り組むことは、これからのまちづくりの課題です。昨年度に引き続き、多様な場面でプロジェクトを円滑に進めるコーディネーターを育成する講座を開催します。

【日時】①令和8年12月26日（土）13:30～17:00「コーディネーター概論、地域課題の整理」

②令和9年1月16日（土）13:30～17:00「地域課題に取り組む」

③同年2月27日（土）13:30～17:00「ファシリテーション技術」

④同年3月13日（土）13:30～17:00「ワークショップ」

【場所】パレット柏 ミーティングルーム FG

【対象】柏市在住・在勤・在学、柏で市民活動等の活動をしている方、これから柏で活動を始めたい方、15名程度（最大20名）

【申込み】11月1日（日）午前10時から

※詳細は、柏市民公益活動情報「かしわん、ぽっ？」をご覧ください。

【問合せ】市民活動サポートコーナー TEL 04-7163-1143



## たまご 補助金

# 柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）団体の 活動紹介（NPO 法人 青森ねぶた祭文化振興会）

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を活用して、令和8年度は、設立間もない5つの市民公益活動団体が活動を行います。ニュースレターでは、順次、たまご補助金団体の活動状況をお伝えしますので、新しい仲間たちの活動に注目してください。

■団体名  
NPO 法人  
青森ねぶた祭  
文化振興会



You tube



Instagram

### ■団体紹介

かつて柏まつりで行われていた「柏ねぶた」の終了を受け、「ねぶたがある街」を継続すべく、ねぶたや祭が好きなメンバーが2024年に市民公益活動団体を設立し、現在はNPO法人として活動しています。

### ■活動内容

毎年7月に開催される柏の葉 T-SITE 夏祭りにおけるねぶた祭の開催をはじめ、市内各地域のお祭りの企画・共催やお囃子演奏を通して、「日本のお祭り文化や伝統の維持・継続」の活動を行っています。

たまご補助金を活用した事業の実施は、今年度は昨年度に続いて2か年目であり、以下の事業を行っています。

- 4～7月 本ねぶた／前ねぶた製作、ワークショップによる「紙張り」の実施
- 7月 柏の葉 T-SITE 夏祭りにおける「市民企画によるねぶた祭」の実施
- 8月 まつりつくばのねぶた祭お囃子に参加
- 10月 市内各地でねぶたお囃子・祭り(予定)
- 11月 逆井町会秋祭りでねぶたお囃子を実施
- 毎月2回 お囃子練習会を実施

### ■活動訪問記（サポーターコーナー 及川）

7月18日（土）、柏の葉 T-SITE 夏祭りにおける「青森ねぶた祭」を見学しました。

今年の目玉は、柏にゆかりの深い「平将門」をモデルに製作した自作のねぶた。

19時からの運行に先立って、拠点となるKOIL 16 Gateでは「ねぶたの展示」や協賛会員向け「ワークショップ」が行われ、その後、「音出し」で盛り上げたあと、T-SITE までの約300mの区間を、ねぶた～お囃子～跳人の一行が、沿道の大勢の観客を巻き込みながら、賑やかに運行しました。

ねぶたの製作から当日の運営まで、団体メンバーや大勢のボランティアスタッフの協力で行われ、正に「市民企画によるねぶた祭」を実感するものでした。予想以上の熱量と完成度に感動、お見事でした。



## パレット柏 まちづくりステーションで展示



7月18日、19日の柏の葉 T-SITE 夏祭りで使われた「青森ねぶた」は、翌20日（月）からパレット柏のまちづくりステーションに展示され、大勢の市民が見物していました。

## こどもすぺーす柏 「ふれあいキャンプ2026」体験記

今回、市民活動サポートコーナーの末永が、NPO 法人こどもすぺーす柏さんの「ふれあいキャンプ2026」（8月28日～30日）に家族4人で参加してきました。キャンプ初心者のわが家。暴れん坊の6歳男の子と、イヤイヤ期の3歳女の子を連れて無事キャンプを満喫できたのか！？わくわくドキドキの夏休み体験記をお伝えします！

### 【1日目】

8月2日（日）の事前説明会で子どもたちの気持ちが高まるなか、8月28日（金）から2泊3日のキャンプがスタート。移動中のバス内でも自己紹介やレクリエーションがあり、ウキウキ気分です。東京都奥多摩町にある百軒茶屋キャンプ場へ向かいました。うっすら曇り空でしたがなんとか天気ももち、いよいよ川遊びの始まりです。目の前に広がる久しぶりの大自然に、私自身も胸が躍りました。勢いよく川に飛び込んだ子どもたちは「わ～！思ったより冷たい！」と震えながらも大喜びではしゃいでいました。思いっきり泳いだ後は、大人たちが準備してくれたドラム缶風呂へ一目散！……と思いきや、わが家の子どもたちはスプーの具材にされてしまうと勘違いしたようで、最初は「入らない！」と恐々としていました。それでも、みんなが笑顔で浸かる様子を見て、無事に初めてのドラム缶風呂を体験することができました。

夜は火を焚いてご飯づくり。後で子どもたちに何が一番楽しかったか尋ねると、2人とも「ご飯づくり！」と答えていました。普段も家で一緒に料理をすることはありますが、みんなで火を焚いて大きな鍋で料理を作る体験は、絵本『ぐりとぐら』の主人公にでもなったかのような感覚だったのかもしれません。夕食後は楽しみにしていた「謎解きナイト」と花火があり、目をキラキラと輝かせていました。こうしてあっという間に1日目終了。

### 【2日目】

2日目の朝は「ストーンアート」からスタート。「この石、鳥に見える！」「これハートみたい！」と想像力を膨らませ、たくさんの作品が生まれました。午後からは沢登りやスイカ割り。少し雨が降ってきた夕方には、小学生たちが企画してくれた「おばけ屋敷」へ。優しい小学生のお姉さんたちに手を引かれ、嬉しそうに懐中電灯を持ってバンガローへ入っていく息子と娘の姿を見られたのは、本当に嬉しい瞬間でした。夜には雨もあがり、キャンプといえばのキャンプファイヤー！火を囲んで歌って踊り、大人も子どもも一緒になって大笑いした最高の時間となりました。

### 【3日目】

3日目の最終日には、みんなすっかり打ち解けて大きな家族のようになれました。家に帰ってからも、しばらくは部屋の電気を消して懐中電灯で「キャンプごっこ」を楽しんでいます。大人も子どもも、今回のふれあいキャンプを通して一回り大きく成長できたと感じています。



## お知らせ

## サポートコーナーからのお知らせ

### 柏市民活動センター開設 20 周年記念 市民公益活動団体交流会のご案内（10/17）

今年は、柏市民活動センターが開設されて 20 周年、市民活動サポートコーナーが開設されて 10 周年の節目の年にあたります。これを記念して、10 月 17 日（土）に市民公益活動団体の会員などを対象にして、柏の市民活動 20 年の歩みを振り返るとともに、市民活動の今後のあり方（未来展望）について語り合う「市民公益活動団体交流会」を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。⇒※同封のチラシ参照

### 市民活動講座・協働まちづくりサロンのご案内（10 月～12 月）

《市民活動講座》

12 月～3 月（4 回） 市民活動コーディネーター講座 ※詳細は本稿 5 ページ参照

《協働まちづくりサロン》

10 月 3 日（土） 身近な緑を守り育てる里山活動のすすめ

※11 月以降のサロンは未定

### まち *match* づくりステーションのご案内（10 月～12 月）

9 月 16 日（水）～10 月 5 日（月） 虹色未来大学

10 月 6 日（火）～15 日（木） たまご補助金ポスター展

※愛らぶ基金ポスター展は 10 月 16 日（金）～31 日（土）オープンスペース壁面

10 月 16 日（金）～31 日（土） 介護フェス

※11 月以降は利用予定が決まっています。柏市内で活動する市民活動団体の活動紹介や団体同士の交流・連携などに積極的にご利用ください。

～編集後記～

熱く燃えた柏の夏も終わり、いよいよ爽やかな秋のイベントの季節を迎えます。市内各地域で秋のイベントが開催されており、市民活動団体の皆さんも、秋冬の活動を計画していることと思います。みんなで柏を盛り上げましょう！

ところで、我が柏レイソルは、8 月に始まった 2026/27 年シーズンは連勝・連敗と好不調の波が激しいスタートとなりましたが、最後まで優勝争いができるよう、みんなで応援しましょう！（編集：及川）



柏市民活動ニュースレター 第 42 号 2026 年 9 月発行

発行者 柏市共生交流推進課 市民活動サポートコーナー

電話 04-7163-1143 FAX 04-7163-1147

メール shiminkatsudo-c@city.kashiwa.chiba.jp

